

所属名	事務事業名	ページ番号
人権・同和政策・男女参画課	男女共同参画計画策定経費	2
人権・同和政策・男女参画課	男女共同参画啓発・推進事業	3
人権・同和政策・男女参画課	ワーク・ライフ・バランス推進事業	4
人権・同和政策・男女参画課	人権啓発広報事業	5
人権・同和政策・男女参画課	自立支援事業費補助金	6
人権・同和政策・男女参画課	隣保館管理運営事業	7
人権・同和政策・男女参画課	人権・同和教育研修会等開催事業	8
人権・同和政策・男女参画課	人権・同和问题市民意識調査経費	9
人権・同和政策・男女参画課	社会同和教育団体育成事業	10
人権・同和政策・男女参画課	教育集会所管理運営事業	11

令和3年度 事務事業実績報告シート

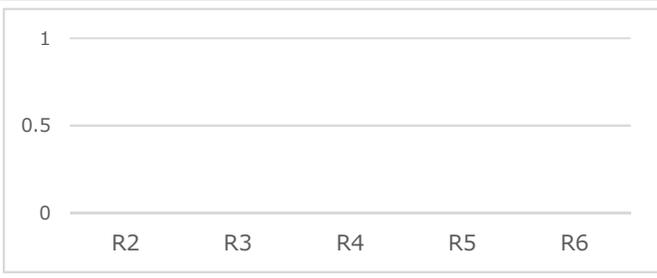
事務事業名	男女共同参画計画策定経費	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 男女共同参画室	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現	
	基本事業	男女共同参画の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成27年度策定の「第三次佐賀市男女共同参画計画パートナーシップ2.1」の見直しを行い、現在の社会情勢及び市民の意識、価値観の変化に対応した「第4次佐賀市男女共同参画計画」を策定する。				
事業の対象者	市民及び事業所				
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、佐賀市男女共同参画を推進する条例、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	574				
うち佐賀市の負担額	450				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
男女共同参画審議会開催回数					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
5					
活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

社会情勢及び市民意識、価値観の変化による新たな課題に対応した「第4次男女共同参画計画 一人ひとりが輝くダイバーシティ社会の実現へ」を策定した。新たな計画を推進していくことで、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に發揮することができるダイバーシティ社会の実現をめざす。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	男女共同参画啓発・推進事業	事業期間	平成 2 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 男女共同参画室	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	
	基本事業	男女共同参画の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	目的：「佐賀市男女共同参画を推進する条例」に掲げる基本理念のもと、市民一人ひとりが互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる佐賀市の実現をめざす。 概要：女・男フォーラムやセミナー等の開催、パートナーデーの広報や情報誌発行により、男女共同参画の視点を広く市民に養う。また、女性活躍を推進し、女性の意見を市政に反映させるため、女性人材リストの拡充を図る。				
事業の対象者	市民及び事業所				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーデーの周知への取組（ポスター、メッセージカードの掲示や配布及び協賛企業への依頼） ・市民編集委員による男女共同参画情報誌「ぱすぽーと」の発行 ・男女共同参画推進協賛事業所の拡充 ・男女共同参画推進団体の啓発事業支援 ・女性人材リストの公募、活用 ・男女共同参画に関する相談窓口の設置 ・男女共同参画リーダー養成（日本女性会議への派遣） ・男女共同参画に関する調査実施（市民意識調査、職員意識調査） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,442				
うち佐賀市の負担額	3,442				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
女性の審議会等への参画率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44.2	42.9	42.9	43.0	43.0		

成果指標②						単位
「男だから、女だから」という理由により、自分の思い通りにならなかったことがあった市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8.2	7.6	7.3	7.0	6.7		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
根強く残る性別による固定的な役割分担意識を解消するために、引き続きフォーラムや研修等を開催するとともに、あらゆる啓発の機会を捉えて積極的に情報発信を行っていく。また、審議会等の女性参画率向上のため、女性人材リストの更なる拡充に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 男女共同参画室	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	
	基本事業	男女共同参画の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	目的：事業所にワーク・ライフ・バランスの取組に関する啓発を行い、職場における働き方改革と男女共同参画の推進を図る。また、家庭における固定的性別役割分担意識を解消し、男性の家事・育児への参画を促進する。 概要：市内事業所の経営層や人事、総務等を対象とした働き方改革に関する研修を実施する。また、マスメディアやネット広告等を活用して情報発信を行い、男性の家事・育児参画に対する市民の理解や関心を高める。				
事業の対象者	市民及び事業所				
令和2年度主な活動実績	市内事業所を対象としてワーク・ライフ・バランス推進のための公開研修会を実施 家事・育児に積極的に取り組んでいる男性を新聞、市ホームページ、市報等で紹介				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,768				
うち佐賀市の負担額	1,768				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
男女共同参画推進協賛事業所の登録数						社
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
199	221	236	251	266		

年度	目標	実績
R2	221	199
R3	236	
R4	251	
R5	266	
R6		

成果指標②						単位
男性の1日の家事関連時間「30分未満、全くしていない人」の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44	51.2	49.2	47.2	45.2		

年度	目標	実績
R2	51.2	44
R3	49.2	
R4	47.2	
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市内事業所を訪問し、男女共同参画推進協賛事業所の拡大に努め、マスメディアや市ホームページ、SNSなど様々な媒体を活用し、家庭における固定的性別役割分担意識の解消や、家事・育児・介護等に家族全員で協力して取り組むよう啓発を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	人権啓発広報事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 人権啓発係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	広報事業を行うことで、人権思想の普及・高揚を図り、基本的人権の擁護に資することを目的とし、同和問題をはじめとする人権問題についての正しい理解と認識を深める。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀駅バスセンター内に人権週間啓発広告を掲示、新聞等への啓発記事の掲載 ・人権啓発ポスターコンクール、街頭啓発、人権ふれあい講演会 ・「新型コロナウイルス感染症に伴う人権への配慮について」の啓発としてタウン誌やインターネットへの啓発特集記事を掲載 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,407				
うち佐賀市の負担額	474				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6	58.4	59.2	60		

成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3.0	3.0	2.9	2.9	2.8		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
年間を通して、各メディア、市報、ホームページ等の各媒体を活用、人権週間に啓発記事を掲載、街頭啓発や人権啓発ポスターコンクール、講演会等を通し、市民の人権意識の高揚を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自立支援事業費補助金	事業期間	昭和 45 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 同和对策係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	同和对策の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人権・同和問題の早期解決のために教宣活動（教育、研修、相談事業等）事業や研究活動（調査、研究、学習等）事業等の取り組みを実施している運動団体の活動を補助するため、自立支援事業費補助金を交付する。				
事業の対象者	部落解放同盟佐賀市協議会、ふれ愛神園				
令和2年度 主な活動実績	【補助金額】 ・部落解放同盟佐賀市協議会 2,400千円 ・ふれ愛神園 660千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,060				
うち佐賀市の負担額	3,060				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3.0	3.0	2.9	2.9	2.8		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
同和問題の早期解決に向け、同和関係者の自立向上、人権侵害の解消といった施策（差別に負けない知識の習得や学習等）に対し、補助金を交付する。また、各種研修会の開催等、人権教育・啓発活動を推進することにより人権・同和問題に関する理解と認識を高める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	隣保館管理運営事業	事業期間	昭和 62 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 同和对策係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福祉の向上や人権教育・啓発の住民交流の拠点施設として活動の充実を図るとともに、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。				
事業の対象者	周辺地域住民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題に関する各種研修会や行事等の開催 ・福祉の向上を図るための各種講座の開催 ・地域住民の活動や学習の機会・場所の提供 ・隣保館の管理・運営 等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,886				
うち佐賀市の負担額	1,490				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6	58.4	59.2	60		

年度	目標	実績
R2		57.7
R3	57.6	
R4	58.4	
R5	59.2	
R6	60	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
各種研修、事業等の開催や各種教室、研修会、会議等における周辺地域住民等の利用を促進することにより、人権・同和問題に関する理解と認識を高める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	人権・同和教育研修会等開催事業	事業期間	昭和 52 ～ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 人権啓発係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人権ふれあい学級や同和问题講演会の開催、人権・同和问题に関する公民館研修や企業研修等を通して、市民の人権意識の高揚を図る。また、研修の場として、①就学前、②学校・PTA（子育て世代）、③企業（働き世代）、④地域社会の4つ段階を設定し、市民の人権・同和问题への理解を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和问题に関する研修会や講演会を主催 ・公民館や自治公民館、企業等の主催する人権・同和问题に関する研修会に社会同和教育指導員を派遣 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,588				
うち佐賀市の負担額	14,191				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和问题に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6	58.4	59.2	60		

成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3.0	3.0	2.9	2.9	2.8		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
差別のない地域社会、市民がお互いの人権を尊重できる地域社会の実現を目指し、人権・同和问题に関する研修会や講演会をの主催や公民館や自治公民館、企業等の主催する人権・同和问题に関する研修会に社会同和教育指導員を派遣し、市民の人権意識の高揚を図っていく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	人権・同和問題市民意識調査経費	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 人権啓発係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画に おける位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「人権・同和問題に関する市民意識調査」は5年ごとに実施し、市民の人権・同和問題に対する意識状況を把握することにより、今後の教育および啓発の効果的な推進を図ることを目的としている。 無作為抽出による18歳以上の市民3,500人へ調査票の送付 調査期間：令和2年9月1日～令和2年10月15日 有効回収数：1,095人 有効回収率：31.3%				
事業の対象者	市民（無作為抽出による18歳以上の市民3,500人）				
根拠法令等	佐賀市部落差別撤廃・人権擁護に関する条例				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,452				
うち佐賀市の負担額	1,452				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
市民意識調査回答率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
31.3					

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

調査結果を分析することにより市民の意識変化を把握し、効果的な教育・啓発事業につなげる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

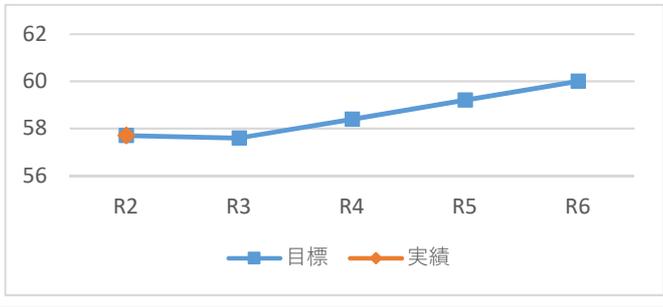
事務事業名	社会同和教育団体育成事業	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 人権啓発係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

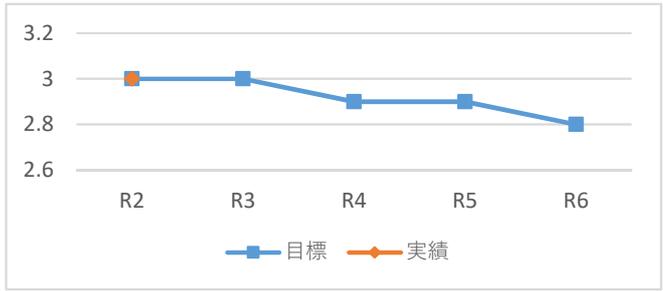
事業概要・目的	基本的人権を尊重し、同和問題をはじめとした様々な人権問題に関する差別の解消に向けた教育・啓発の推進を図るため、偏見や差別のない社会を構築するため、各地域の社会人権・同和教育推進協議会が実施する事業に要する経費に対し補助金を交付する。また、各地域の社会人権・同和教育推進協議会に対して、自主研修・学習会開催の促進のために協議会への講師派遣やアドバイスを行う。				
事業の対象者	市社会人権・同和教育推進協議会地域の各協議会				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市社会人権・同和教育推進協議会へ120万円、26地域の各協議会に各14万円を補助 ・各協議会への講師派遣やアドバイス 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,840				
うち佐賀市の負担額	4,840				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6	58.4	59.2	60		



成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3	2.9	2.9	2.8		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
各協議会への講師派遣やアドバイス、各協議会への補助を通して各地域での自主研修や学習会の開催促進等を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	教育集会所管理運営事業	事業期間	昭和 52 ~ 年度
担当部署・係名	人権・同和政策・男女参画課 同和対策係	担当課長名	八谷 小百合
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	人権尊重の確立	
	基本事業	人権意識の高揚	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人権・同和問題に関する人権啓発の交流拠点（同和教育集会所、田代ふれあいセンター、大和教育集会所、久保田教育集会所）として各種研修会や行事、相談事業等を行い、人権意識の高揚を図る。				
事業の対象者	周辺地域住民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題に関する各種研修会や行事等の開催 ・地域住民の活動や学習の機会、場所の提供 ・教育集会所の管理運営 等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,796				
うち佐賀市の負担額	11,691				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.7	57.6	58.4	59.2	60.0		

成果指標②						単位
1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3.0	3.0	2.9	2.9	2.8		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
各種研修会や行事等を開催することにより、人権・同和問題に関する理解と認識を高める。